

令和6年度第1回 潟上地域リハビリステーション運営推進会議録

1. 日時 令和6年9月19日（木）14時～15時
2. 場所 トレイクかたがみ研修室1
3. 出席 潟上市役所健康長寿課 渋谷様
 飯田川居宅介護支援センターわかば園 介護支援専門員 伊藤 美奈子様
 まごころプランステーション 櫻庭 睦様
 利用者代表 A様
 利用者代表 B様
 潟上地域リハビリステーション管理者 渡部 見
 潟上地域リハビリステーション 大竹 絵美子
 （欠席：山根町内会長 阿部様、民生委員 冨浪様）

4. 活動状況に関する報告

<p>潟上地域 リハビリステーション（大竹）</p>	<p>① 利用状況 3月から6月にかけて利用人数が増えている。7、8月は体調不良や県外からの家族の来訪などが重なり、延べ人数が減っている。利用者の地区別、介護度の割合は前回会議時と比較して大きな変化はない。</p> <p>② 買い物リハビリ 計6回開催し、1回平均6.8人参加している。活動量計で測定すると普段のリハビリよりも長時間歩いていることがわかった。</p> <p>③ 今後のリハビリ 買い物リハビリを継続し、ポールスティックを活用した運動、秋田大学と共同研究でデバイスを用いた歩行分析を行っていく。</p>
<p>潟上地域リハビリステーション （渡部）</p>	<p>利用者は介護度が軽い人が多い。区分変更で要介護から要支援に軽くなる利用者もいるため、要支援2が一番多い。買い物リハビリは好評の声をいただいている。普段は買い物できない利用者も参加し、楽しみながら身体を動かすことができる。最初は食料品を買う</p>

	利用者が多かったが、生活雑貨や化粧品、衣服を買う人も出てきた。
--	---------------------------------

5. 意見交換、質疑応答

<p>潟上市健康長寿課 渋谷 様</p>	<p>買い物リハビリは店側の受け入れはどうか。</p> <p>→通路幅や商品のラインナップ、トイレの使いやすさなどを考え、五城目イオンに多く出かけている。職員は、利用者に付き添う、休憩室に留まる、店内をラウンドすると役割を変えている。</p>
<p>介護支援専門員 伊藤 様</p>	<p>・他事業所でも買い物を行っているところはあるが、活動量を計測する事業所はない。</p> <p>→腰部に装着する活動量計のため歩行車歩行ではうまく計測できないこともある。計測のやり方なども今後検討する。</p> <p>・ポールスティックでの運動はどのように行うか。</p> <p>→今までも個別リハビリの中でポールスティックを用いた運動を行うことがあったが、限られた利用者だけだった。今後は集団体操でもポールスティックを取り入れていく。</p>
<p>介護支援専門員 櫻庭 様</p>	<p>買い物リハビリは冬季間も行う予定があるか。</p> <p>→路面状況や天候によっては、買い物場所を五城目イオンからより近い店に変える、行き帰りの時間が長くなるため買い物時間を短くするなど調整が必要になると思う。また冬季間は通所利用を休みがちになる利用者も出てくることが予想されるため、引きこもり防止のためにも買い物リハビリは継続する。</p>
<p>利用者代表 A 様</p>	<p>自分でも自動車を運転して買い物に行くことはあるが、一人で行くよりもみんなで行った方が楽しい。最初は週1回の利用だったが、今は週2回来ている。来ると膝が楽になる。</p>
<p>利用者代表 B 様</p>	<p>買い物リハビリに参加し、4、5年ぶりに買い物を楽しむことができた。普段は息子が買い物をしている。とても楽しかった。</p>